



☆白峰祭に向けて 2 学期の小中合同太鼓練習が始まりました

9 月 3 日 (火) の 6 校時から 2 学期の小中太鼓練習がスタートしました。夏休みが終わって最初の練習は、指導者の宗先生の話から始まりました。夏休みに体験したことを児童生徒に聞きながら、オリンピックのことや宗先生自身が海外公演をしたことなどに触れながら、太鼓活動を通して「努力して自己を高める経験」をしてもらいたい、その「経験を通して一人一人の感性や人間性の成長につなげたい」という願いを話してくれました。その後、実際の演奏の練習に入りましたが、何回かぶりに聴いた演奏や練習風景は以前に比べずいぶんと進歩しているように感じました。

太鼓活動が好きだからがんばる人、嫌いだけど我慢して練習をする人、ちょっと練習するとできる人、たくさんやってもなかなかできない人、いろいろな人がいるのがチームです。チームとして目標に向かうためには自分だけの気持ち、考え、都合でなく、他の人の感じ方や考え方を理解しようとする気持ちと行動が大切です。白峰祭で芦安小 4 年から芦安中 3 年までが一つになって練習の成果を見せてくれることを楽しみにしています。



☆人権についての学習会

9 月 4 日 (水) の 6 校時に南アルプス市人権擁護委員 7 名が来校して人権についての学習会が行われました。学習会では人権とはどんなものなのか、人権を守るためにはどうすればいいのかといったことについて取り上げました。その中でキーワードになったのは「リスペクトアザーズ」という言葉でした。自分の人権と自分以外の人の人権どちらも等しく大切なものであるはずなのに、つい自分のことばかり目が向いてしまい相手のことを考えないことは、私自身思い当たることがあります。ルールや決まり、法律などで決まっていなくてもお互いに相手のことを尊重することができるようにしていきたいものです。



今回の学習会は中学生くらいの発達段階にとっても大切なことを含んでいたと思います。せっかくの機会ですので、この後に学校生活の中でよくある事例をあげてみました。今回の授業のキーワードであった「リスペクトアザーズ」を思い出し、相手を尊重しながらチームとして高い目標に到達するためにはどんな言動をすればいいのか、ぜひ親子で考えて話し合ってみてください。

運動会の色別対抗リレーが 1 週間後に迫ってきました。クラスみんなで練習を頑張って優勝しようと目標を決め練習をしているときのことで。

(A 君達たちの気持ち)

走るのが得意で好きな A 君たち、みんなで頑張ると決めたのに練習中に頑張っていないように見える B 君たちが許せません。つい、「ちゃんと練習しろ」「ちゃんとやらない人は迷惑だ」ときつい言葉を言ってしまう。

(B 君たちの気持ち)

走るのが苦手な B 君たちはまじめに練習をしているつもりですが思うように走れません。そのため練習が嫌でだらけてしまいます。速く走れる A 君たちをうらやましく思いますが、文句を言われるのでつい嫌な態度をとってしまいます。

A 君たちのグループ、B 君たちのグループに分かれてクラスは何か雰囲気がよくありません。これでは 1 週間後の本番で目標達成ができそうにありません。さて、どうしたらいいのでしょうか？



☆小学校グラウンドの草取りにご協力ありがとうございました

8月31日に予定されていたPTAの除草作業が中止になり、かわりに9月6日(金)の放課後の時間帯を使い作業を行いました。当初の予定になかったので「できる人たち」という形での実施でしたが、多くの保護者と児童、生徒、教職員に参加していただきました。おかげでグラウンドがずいぶんきれいになりました。ありがとうございました。生徒数の多い学校でも、任意で協力をお願いした場合はなかなか人が集まらないということがあったと聞きます。その理由はいろいろと考えられますが、こうした任意の活動に多くの人が集まるところに芦安小中学校の良さがあるのではないかと思います。



☆小中合同の活動をいかにしていきたいと考えています

9月9日(月)から芦安ふれあい運動会に向けた取り組みが始まりました。取り組み期間中は朝の会から1校時の時間帯を使い小中合同の活動が行われます。この活動は芦安小中学校における小中一貫教育の中でも他校と異なる特色であり非常に大切な意味を持つ活動と言えます。



毎日の活動の様子を校長として観察していると、中学生の頑張りや課題が見えてきます。頑張りという点では、中学生の中に主体的に周囲に声をかけて活動を盛り上げようという気持ちがある点が挙げられます。中学生全員ができるわけではありませんが、仲間の良い点を見て自分も同じようにしようと思うことで周囲の生徒の人的成長のきっかけにもなっています。また小学生にとっても「中学生になったらこれだけのことができるようになる」という身近なお手本となりよい影響を与えることになっているようです。ぜひこれからも続けてほしいと思います。一方で課題



と感じる部分もあります。それは中学生が自分自身の様子を客観的に意識することができず自分勝手な行動をしていると感じる場面があることです。中学生の発達段階であれば、自分の発言と行動の矛盾や不一致に気づいたり目を向けたりして、そこに葛藤が生まれることがあってもおかしくないと思うのですが、そういった自己の矛盾や不一致を気にしない、指摘されても受け入れない場合があり、それが中学生全体への悪いイメージにつながってしまうのです。

教室の中だけではなかなか見えない生徒の姿が行事の取組を通して見えてくることがあります。その機会を捉え、良い面悪い面どちらの面であっても生徒の成長につなげられるようにしていきたいと思っています。

☆お願いとお知らせ

はじめにお願いします。1学期が終わり、教員の働き方について今年度の状況と課題が見えてきました。芦安中学校においては、特に以下の点について取り組むことが必要だと考えております。これまでもお願いしてきたことですが、あらためて教員の働き方改革へのご理解とご協力をお願いします。

- 保護者への電話連絡については、基本的に教員の勤務時間内またはその終了後しばらくの間(おおむね8:00~18:00)として、それ以降は、緊急の場合のみ連絡することとします。
- 保護者からの電話連絡についても、8:00~18:00の中でいただくことを基本としたいと思います。なお、保護者の携帯電話等に学校からの着信履歴があった場合、上記時間内に折り返していただくか翌朝にご連絡をいただくと助かります。
- 病気や家庭の事情等による欠席や遅刻、早退の連絡については、これまで通り欠席連絡フォームをお使いください。欠席等をする場合は8:00までに欠席連絡フォームの入力を忘れないようにお願いいたします。

次にお知らせです。夏休み中に校舎1階と3階の男子トイレ個室の改修工事が行われました。この工事により校舎すべての階のトイレが洋式化されました。こうした工事の費用は南アルプス市に出してもらっています。(つまり元は税金ということになります。)市民の大切な税金でつくられている公共物です。大切にしていきたいと思います。



芦安中学校だより

第 7 号

校長 大石 浩雄

2024. 9. 25

芦安ふれあい運動会が実施されました

天候にも恵まれ9月21日(土)に芦安小学校グラウンドにおいて、芦安小中学生と保護者、地域の方等が集まり芦安ふれあい運動会が実施されました。児童生徒39名に加え、保護者・地域の方など多くの方にお集まりいただきました。参加いただいた保護者や地域の方に感謝いたします。ありがとうございました。



小学1年生の教室にあったテルテル坊主
かわいい気持ちが伝わります

☆はじめに ~地域とともにある学校として~

すでにご存じの方も多いと思いますが、芦安小中学校は令和4年度4月からコミュニティースクール(以下CSとします)となりました。それ以前から、地域の力を借りる、地域の方と一緒に活動するといったことが行われていましたが、CSとなって以降は、単に「学校から地域の方に協力をお願いする」のではなく、「地域の方の意見を取り入れながら地域の方とともに学校教育を進めていく」ことが求められるようになりました。今年度も既に半分が過ぎ過ぎようとしていますが、これまでにCSとして地域の方との交流と地域の方からの協力を支えに取組をしてきました。その一つのまとめの形として芦安ふれあい運動会があったのではないかと思います。生徒の一生懸命に競技や演技をする姿や小学生をリードしようとする姿、地域の方に自分から関わろうとすることで少しでも地域への貢献を果たそうとする姿を見ていただくことができれば、CSとしての責任を果たせたのではないかと思います。

☆開会式

小学校児童会のみなさんによる進行のもと、整然とした中で開会式を行うことができました。入場行進や話を聞く様子などもいつも以上にしっかりしていました。小学校の児童会長と中学校の生徒会長による選手宣誓も力強く行ってくれました。



☆競技の様子

芦安ふれあい運動会の種目は、周辺の中学校の体育祭で行われているものとはちょっと違います。児童生徒が色別に分かれて競い合う競技ももちろんありますが、それ以外に親子競技や地域の方との競技といった大人との交流を必要とする競技もあります。自分の競技に全力を尽くすことはもちろん、中学生として小学生をリードする場面、保護者や地域の方と言葉を交わす場面など普段は見るができない場面が見られ良かったです。



魅せろ!親子の絆!

普段は親から指示されることが多いだろう中学生もこの時には一生懸命親をリードする姿が見えました。

玉入れ

保護者・地域の方と一緒にやって行う玉入れと小中学生だけで行う玉入れの2種目を行いました。玉を入れるかごは背の高いかごと低いかご、当然背の高いかごに入れたほうが点数は高くなります。

☆ザ・ダンス☆

1学期から体育の授業で取り組んできたダンス。練習ではクロームブックを活用して自分たちのダンスを確認していました。センターの1年生男子生徒は授業だけでなく自宅でも動画を見て練習を重ねてきたと言っていました。👍 GJ!



二人三脚

小学4年生まではフラフープの中に入って、小学5年生以上はマジックテープのバンドで足を結んで走りました。パートナーとしっかり肩を組み、息を合わせて走る姿はさすが中学生といった様子でした。



宝ひろい

来年度に芦安小に入学予定の子と地域の方が小学生と一緒にプレゼントを取りに行きます。中学生は全員で準備を手伝いました。



小学6年生は来入見や地域の方にしっかりと気配りをする事ができていました。来年度芦安中学校で待っていますよ。



綱引き

大人の部と児童生徒の部を行いました。大人の部は赤組の2連勝、児童生徒の部ではこれまでの練習の結果を覆して白組の2連勝で決着がつかしました。



芦安音頭

昭和30年代から芦安地区に伝わる踊り。地域在住の青山様にご指導いただき練習してきました。振付の中には芦安の風景や当時の生活の様子などが織り込まれているということも教えていただきました。地域に伝わる一つ一つの事に意味があることを知るとその地域に一層愛着が湧きました。

Unicycle (一輪車)

小学生による一輪車の演技と自由参加による一輪車競技が行われました。一輪車に乗ったことのない私にとって、児童生徒だけでなく保護者や地域の方も上手に一輪車を乗りこなしていて感心させられました。



縦割り対抗リレー

最後の種目は児童生徒全員によるリレー。ひとりひとりが全力で走る姿が印象的でした。



☆閉会式

最後は中学校生徒の進行によって閉会式が行われました。今回は昨年に続き白組の優勝。優勝旗の授与や感想発表などが行われました。



☆おわりに

小学生、中学生、保護者、地域の方が一堂に会して行った芦安ふれあい運動会。私にとっては初めて経験する形式の運動会でしたが、地域・保護者が一体になって子どもを見守るあたたかさを感じる運動会でした。また、生徒のみなさんのがんばる姿を見ることができて校長としてとてもうれしかったです。どうもありがとうございました。